



鈴鹿市立加佐登小学校 学校運営協議会だより

第1号

令和5年6月27日発行
学校運営協議会事務局

学校運営協議会とは コミュニティ・スクールとは

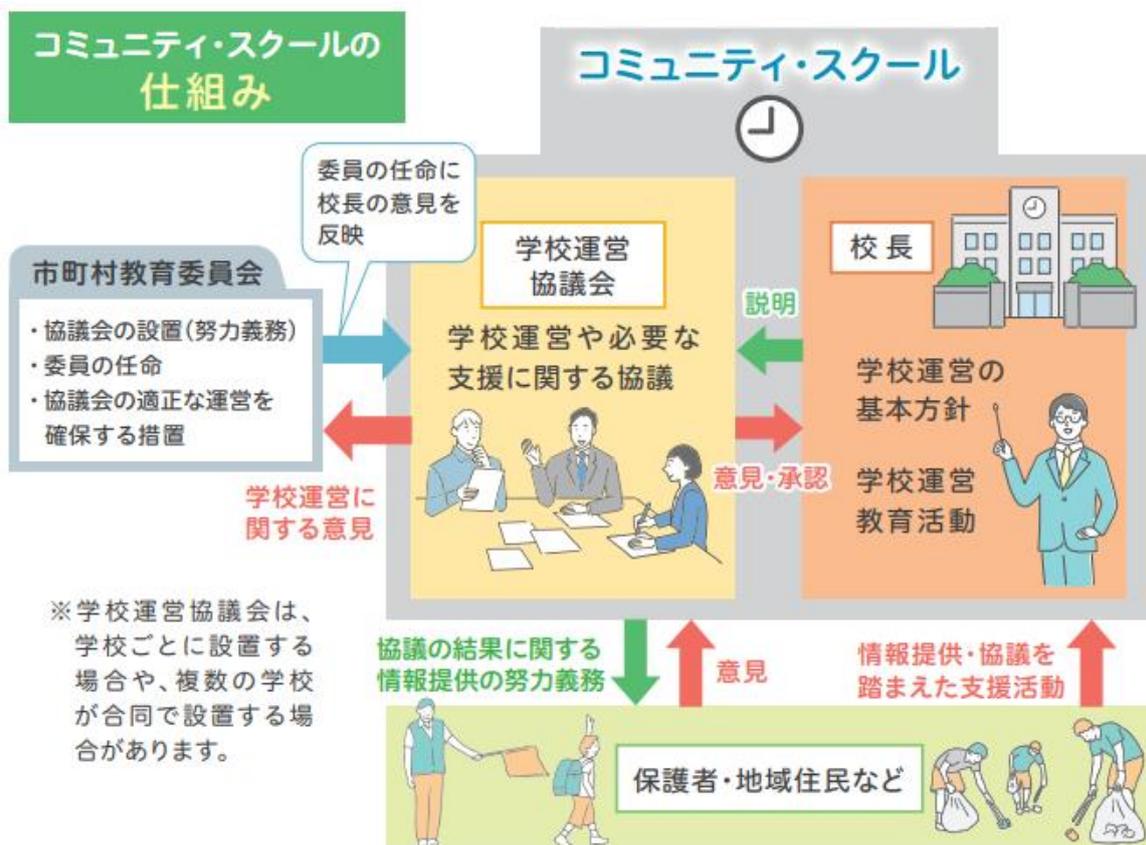
鈴鹿市では、すべての公立小中学校がコミュニティ・スクール（略称：CS）に指定され、地域に開かれた特色ある学校づくりをすすめています。

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の方々など10人程度の委員によって構成される学校運営協議会が設置されている学校のことです。学校運営協議会では「どのような学校を創っていくのか。」「どのような子どもを育てていくのか。」といったことなど、様々な教育課題について、学校・保護者・地域がそれぞれの立場で共に考え、知恵を出し合いながら熟議し、地域ぐるみの学校づくりに取り組んでいます。

この「加佐登小学校 学校運営協議会だより」では、年間5回開催予定の会議での協議内容等を中心に、コミュニティ・スクールとしての取組状況をお伝えします。

【会議開催予定日：5/25, 6/20, 10/12, 12/5, 2/16】

※ 白鳥中学校区合同運営協議会が、10月～11月の間で開催予定です。



<出典> 『広報すずか(2022.8.5号)から抜粋』

<https://www.city.suzuka.lg.jp/kouhou/gyosei/open/shiryou/hakkobutsu/koho2022/pdf/20220805/20220805-02-05.pdf>

第1回 学校運営協議会【5月25日(木)開催】(報告)

まず、委員長と副委員長の選出が行われました。

委員長には昨年度、副委員長の島田恒次さんが、副委員長には加佐登地区まちづくり協議会青少年育成部委員の中西貞徳さんが選出されました。

次に、学校側から令和5年度の学校経営改革方針の説明を行い、委員の皆さんから承認されました。その後、学校配当予算及び学校いじめ防止基本方針と学校行事の年間計画について説明を行いました。

後半は、まちづくり協議会青少年育成部との連携や卒業式の服装等について話し合われました。学校の儀式的行事である卒業式については、小学生としてふさわしい節度のある服装や頭髪で臨んでいただくことを、今年度も、学校とPTA、学校運営協議会の三者から6年生の保護者をお願いしていくこととなりました。

◇まちづくり協議会青少年育成部と学校の連携した取組

- ・ 学校の授業で、1年「昔のあそびを知ろう」、3年「昔の暮らしを知ろう」の学習を予定している。また、希望者を対象に、7月には「星のおはなし」、夏休みには「ペットボトルロケット・ゴム飛行機飛ばし」を行う予定。

コロナ禍で中止していたものもあるのでできるだけ復活させたいが、暑さも考慮しながらの計画が必要。

◇米づくり活動について

- ・ 5年生がまちづくり協議会青少年育成部の方の田んぼをお借りして田植えから収穫まで行う。4月27日(木)に手植えと機械で田植えを行った。水の管理はまちづくり協議会青少年育成部が行ってくださる。今後、除草と稲刈りも子どもに体験させていただく。



◇その他の協議内容(抜粋)

- ・ 加佐登小学校配当予算の中で、プール西の山の斜面の除草は業者委託できないか。PTA奉仕作業やまちづくり協議会へ依頼してはどうか。くれぐれも教職員の負担増にならないよう検討してほしい。
- ・ 昨年度の卒業式は校長先生が真ん中で向かい合う形式でよかった。昨年度も5月に卒業式の服装についてのおたよりをもらった。もらったことを忘れていた保護者もいたが、服装も特別華美な児童もいなかった。
- ・ 目的をもたして高学年に指導をしていてもらいたい。例えば花に水をやる時に雨の日にも水やりをする子がいるが、草木を育てることを目的として教えてほしい。あいさつもなぜするのかを考えさせると、よりよい加佐登の子が育つ。
- ・ 子どもが自分で判断する避難訓練とは、具体的にどういう訓練か。
⇒予告なしで、訓練を行ったり、休み時間等教師が引率しない時間帯に実施したりする訓練を計画している。

第2回 学校運営協議会【6月20日(火)開催】(報告)

まず、少人数教室に集まっていただき、本日の議事内容等を説明した後、児童の様子や授業内容について知っていただくために、2限目の授業を参観していただきました。

冒頭、委員長から、「梅雨で子どもは外で遊べない季節であるが外で見かけたときや、夏休み前でうきうきしている時こそ、町で見かけたら声掛けをお願いしたい。また学校関係者評価は年度末に評価を行うことにつながる事となる。」とあいさつをしていただきました。

学校長からは、「授業を参観して児童の様子を見ていただき、忌憚のないご意見をいただきたい。また、第1回学校運営協議会以降の学校の様子は、『加小っ子だより』を資料として添付してあるのでご覧いただきたい。」旨をお伝えしました。

さらに、「6月16日には加佐登まちづくり協議会の方々にお世話になり、5年生が田んぼの草取りをさせていただいた。子どもたちは貴重な経験をさせていただいている。」旨もお伝えしました。



参観後、少人数教室に戻っていただき、学校や子どもの様子について感想等の意見交換と令和5年度学校関係者評価書について学校長から目標及び指標を説明後、委員の方々と協議を行いました。

◇授業参観後の意見交換 (主なもの)

- 学年に応じた子どもの姿で、落ち着いて学習している様子を見ることができた。
- 低学年も姿勢よく、授業を楽しみにしているのが伝わってきた。
- 掲示物等乱れておらず整えられていてよい。また、ゴミが落ちておらずきれいな環境である。
- 教室の机の配置は、昔は一斉に前を向いていたが、3人ほどで机を寄せ合う配置で学んでいた。驚いたが、よいことだと感じた。
 - ⇒ 友達と意見交換をしたり、端末の作品を見せ合ったりする時このような机の配置にすることがある。
- プールが再開していて見せてもらった。改めて命を守る大切な学習だと感じた。
- 子どもはプールをとても楽しみにしていた。汚かったプールをよくこんなにきれいにしてもらったと思う。
- プールで男子が上着(ラッシュガード)を着ていることに驚いた。
 - ⇒ 着衣水泳ではなく、日焼け等の対策として着用する児童もいる。

- 例年プールの終了時期が早いように思う。梅雨で入れないことを考えると夏休みが始まるギリギリまで水泳期間を延ばせるとよい。
- 4年生のごみ博士の授業では、外部の方にパワーポイントを使って説明してもらったり、ごみ収集車を見せてもらったりして生の体験をしていた。子どもの興味が高まるので、(外部講師(ボランティアも含め)を招聘した授業や体験学習を)できる限り取り入れていけるとよい。
- 5年生がろ過装置をつけてメダカを飼っている。自分たちで世話をしている。
- トイレのスリッパが整頓されていてよい。日頃の先生の指導の成果である。
- トイレの照明はついている方がいいのか、消してある方がいいのか。
 - ⇒ 使用していないのであれば消してある方がよい。消すように指導をしていく。
- 散らかりがちな特別教室の準備室も掃除が行き届いている。家庭科準備室は特にきれいだった。
- ほとんどの子がマスクをしていない姿を見て、ようやくこの光景が見られるようになったと感じた。机を寄せて話し合っている授業の様子も見るができるようになりありがたい。まだマスクをしている子も外せるようになることを願う。
- 危険と思い学校側に伝えた、二宮金次郎と忠魂碑の入口に早速子どもに分かりやすい表示がされていた。当たり前のように過ごしていると見過ごしてしまうことに目を向けることも必要である。



◇学校関係者評価について

○ 主なご意見やご質問

- ・ 昨年度から項目が変わっているのはなぜか。

⇒ 学習指導要領が新しくなって4年目となったため、新学習指導要領に即した授業改善は進んできた。そのため、「授業づくり」の項目と合わせて目標と指標を検討していくこととした。

また、「一人ひとりに応じた指導・支援の体制づくり」は、目標指標等重なる部分が多いため、2項目を合わせて1項目とした。

- ・ 「安全教育」の【指標】に「安全な学校生活を過ごすために、自分で工夫をしたり」とあるがどういうことを指すのか。

⇒ 災害の時、自分で考えて行動できるように教師が引率する避難訓練だけではなく、休み時間等、自分で考えて行動するよう様々な状況を想定した避難訓練を行っていく。また、自分で考えて行動できるよう、理科や社会の防災の単元等において必要な知識を子どもに身に付けさせていきたい。